

2018年3月号(第71号)

発行/企画 社協・編集会議

社 協

とつか

社会福祉法人 横浜市戸塚区社会福祉協議会
住 所 : 〒244-0003 戸塚区戸塚町 167-25
T E L : 045-866-8434
F A X : 045-862-5890
E-mail : info@totsukashakyo.com
<http://totsukashakyo.com/>

住民主体のまちづくり 必要なことは、自分達で創りあげていく

(介護予防・生活支援サービス補助事業の紹介)

みなさんは、介護予防・生活支援サービス補助事業はご存知ですか。

新聞やテレビなどでもでてくる言葉だと思います。

今回の特集では、戸塚区内でスタートした2つの団体を紹介します。



★ミニ知識

介護予防・生活支援サービス補助事業

この事業は、高齢になっても、地域で自ら健康づくり・介護予防に取り組み、生活に支援が必要な場合には、多様な主体からの支援も受けながら、その人らしい自立した暮らしができる地域をつくっていくことを目指しています。

また、高齢者自身も担い手となることで、高齢者の社会参加が促進されることを期待しています。

住民主体で行う見守りや支えあい活動を行う団体は、どのような支援を受けられるの?

地域で『要支援者等』※に対する介護予防や生活支援の活動を行う団体に、その活動に係る費用が補助されます。原則として、法人格が必要となります。ただし、活動費の補助のみを受ける団体については、一定の条件を満たすことで任意団体であっても補助の対象団体となります。

※『要支援者等』とは、要支援1・2の要介護認定がある方及び要支援相当の方で基本チェックリストを活用して事業の対象となった方（事業対象者）で、地域包括支援センター等による介護予防ケアマネジメントでサービスの必要性がケアプランに位置付けられた方のことをいいます。

【補助の対象活動】

通所型支援	住民主体の有償・無償のボランティア等が、要支援者等を中心とした利用者に対して、定期的に高齢者向け介護予防に資するプログラムを提供（週1回以上かつ概ね3時間以上）する場合
訪問型支援	住民主体の有償・無償のボランティア等が、要支援者等の利用者宅に定期的に訪問（週1回以上）し、生活援助等の支援を提供する場合
配食支援	住民主体の有償・無償のボランティア等が、要支援者等の利用者宅に定期的に訪問（週1回以上）し、栄養改善を目的とした配食や一人暮らし高齢者に対する見守りとともに配食を提供する場合
見守り支援	住民主体の有償・無償のボランティア等が、要支援者等の利用者宅に定期的に訪問（週1回以上）し、見守りのサービスを提供する場合

- ・補助金の対象団体となるためには、各種要件があります。
- ・要支援者等への支援の提供回数や、受入人数によって補助額が違います。（限度額60万円、他に通所型支援には家賃補助あり）
- ・補助対象経費は、家賃のほか、活動費等の補助として、利用調整等のコーディネートに係るスタッフの人員費や保険料、備品費等、本事業を実施するために必要な経費が対象となります。

※事前に必ず各地域ケアプラザ及び区社会福祉協議会の「生活支援コーディネーター」へご相談ください。

今回紹介する2つの団体は、いずれも大正地区にあり、ドリームハイツに隣接する空き店舗を利用しています(⑩⑭)。中心エリアであるドリームハイツは、全23棟からなる大規模団地群で、1972年頃から入居が始まり、2,300世帯(全23棟)が生活しています。

ここでは、住民自らが育んできた様々な福祉活動が盛んです。入居当初は、自主保育などの子育てを中心とした活動(すぎのこ会など)が活発でしたが、現在は、少子高齢化が進み、高齢者を支援する活動が中心に行われています。

深谷台地域
エリアマップ

NPO法人 いこいの家 夢みん

プロフィール

いこいの家夢みんは、誰もが地域で心豊かに生き生きと過ごすために、交流、生きがいづくり、支え合いの場や介護予防の場を住民同士で創る事を目標に立ち上げました。皆さんが楽しめるよう、音楽・体操・健康麻雀など多彩なプログラムを行っています。



一番右が代表 伊藤 真知子さん

人気のあるプログラム

様々なプログラムを展開している夢みんですが、その中から2つをご紹介します。

①ゆめサロン(毎週木曜日、参加約10名)

認知症のあるなしにかかわらず気軽に楽しむ集いの場を開催しています。



今後の展望

夢みんを開設して21年が経ちました。担い手の高齢化という課題はありますが、様々な世代の方々に地域の居場所として活用してもらいたい、世代交代をはかりたいと思います。

また、この地域には夢みんだけでなく、いくつか居場所があるので、その特徴を活かし連携していきたいです。

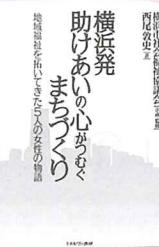
②歌声喫茶(毎月第1・3月曜、参加約20名)

声を出すことで心も体も脳も活性化させようということで歌の好きな方が参加しています。

歌集中から好きな曲をリクエストし、ピアノの生伴奏にあわせて約20曲を歌っています。



紹介します。



今回、掲載した2つの団体に関わっている「松本 和子さん」が紹介されている「横浜発 あいの心がつむぐまちづくりへ 地域福祉を拓いてきた5人の女性の物語」(ミネルヴァ書房)、地域福祉の実践記録が満載です。

NPO法人 ふらっとステーション・ドリーム

プロフィール

住民誰もが「ふらっと」立ち寄れる居場所作りを目標に活動しています。

主な活動は月曜~土曜に提供される地域の主婦手作りの日替わりランチと利用者同士の交流です。この毎日の活動が横浜市の「健康づくりプログラム」として認められました。「いつまでも元気に自分らしく過ごせる」居場所として活動を続けます。



理事長 まえだ しあさき 前田 利昭さん

①健康づくりプログラム(H30.1月スタート)



月曜から土曜までの日替わりランチと交流の時間(11時50分~14時)を挟んで、午前・午後に「腰かけたままできる体操」「折り紙」「簡単栄養料理」「口腔ケア相談」など多彩なプログラムを用意して、皆様のご参加をお待ちしております。

②おいしいランチ

地域のベテラン主婦が手作りしているランチの人気メニューは、「天ぷら」と「キーマカレー」です。

サクッと揚がった天ぷらを食べながら、利用者同士またはスタッフを交え、賑やかな交流の声が毎日聞こえます。



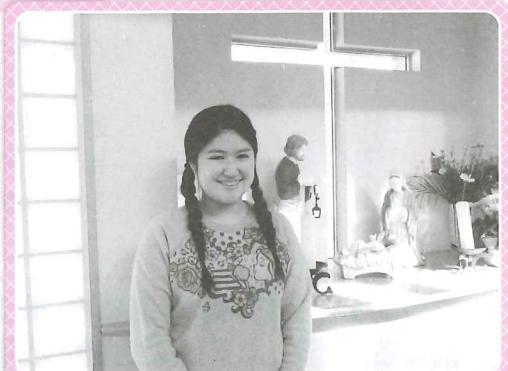
今後の展望

ふらっとステーション・ドリームを開設して12年が経ちました。今後も地域の居場所として活動を継続していくためには、担い手の高齢化が大きな課題です。また利用客の方の中にもお体が不自由となり、お見えにならなくなったりした例もあります。地域住民の一層の高齢化への対応は、地域全体の課題でもあります。

連載

福祉人材シリーズ *戸塚の輝くひと*

vol. 8

社会福祉法人イクソス会
とつかルートル保育園
保育士 5年目 伊熊 麻穂さん

一仕事の内容を教えてください

0~6歳の子どもを預かり、日常生活のお世話、食事、睡眠などの生活習慣のお手伝いをしています。生活、遊びを通して、社会性や思いやりを培っています。私は、年長組(黄組)を担当しています。

一なぜこの仕事に就きたいと思われたのですか

小さい頃から子どもが大好きで、ずっと保育士になりたいと考えていました。学生の時の保育実習先がこの保育園でした。先生方が子どもに接する姿を見て、保育士は遊ぶことだけではなく、色々な役割があることを知り、ここの保育園で保育士をしたいと思いました。

一仕事の魅力を教えてください

子どもの成長を感じるときです。その瞬間をお父さん、お母さん、保育園の先生方など様々な人たちと分かち合えることです。

一地域との交流はありますか

公園にお散歩に行く途中、地域のおじいちゃんやおばあちゃんとあいさつをしたり、年に2回、日頃お世話になっている近所のパン屋さんやクリーニング屋さんに、お花と手作りのメッセージカードを届けています。

一「社協とつか」読者へメッセージをお願いします

笑顔あふれる保育園にぜひ、遊びに来てください。お待ちしています。

とつかボランティアセンター通信

ボランティアのことなら、 とつかボランティアセンターへ！

★ とつかボランティアセンターではボランティア活動や市民活動支援を通して、地域の皆さんとともに「誰もが安心して豊かに暮らせるまちづくり」を推進していきます。

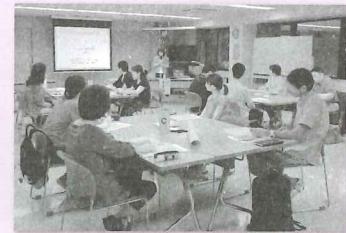
①相談・紹介

- ボランティア活動をしたい人…本人の希望にそった活動先を紹介します。
- ボランティアを必要とする人…ボランティアを紹介する他、ご相談内容によってはボランティアではなく、公的制度や関係機関をご紹介する場合もあります。
- ボランティア活動上での相談や、ボランティアグループへの支援を行います。



②講座・研修等

- これからボランティアを始める人に向けて、活動のきっかけがつくれるように入門講座を実施しています。
- ボランティア活動者・グループ向けにさらなるスキルアップを目指せるよう活動に役立つ講座を実施しています。



③情報の 発信・収集

- ボランティア募集情報や各種講座のご案内等を広報紙やホームページを活用して発信しています。
- 他機関のボランティアに関する様々な情報収集を行っています。



④福祉教育の 推進

- 学校や企業、地域などで実施される福祉を学ぶプログラム・企画の相談を行います。講師の派遣調整やプログラムの提供も行っています。また、車椅子、点字器などの福祉機材を貸し出しています。



ボランティアに興味のある方、ボランティアに依頼したいことがある方、その他ボランティアに関する質問等、まずはお気軽にご相談ください！

とつかボランティアセンター

窓口開設：月～土 9:00～17:00

※日・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）を除く

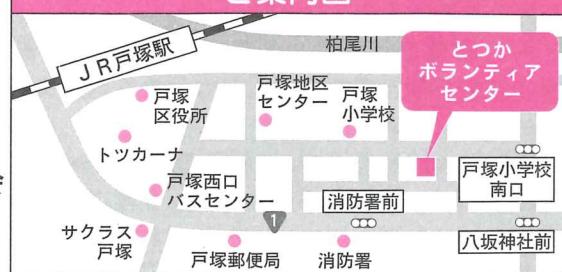
住所：〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町 167-25
戸塚区社会福祉協議会

TEL：045-866-8483

FAX：045-862-5890

Email :volunteer@totsukashakyo.com

ご案内図



「社協とつか」は区民の方々から寄せられた共同募金の一部を用いて発行しています。